

IMAGINE ONE ASIA

ここで、ひとつに。



20th Asian Games
Aichi-Nagoya 2026

第20回アジア競技大会 (2026 / 愛知・名古屋)

2026年9月19日(土)～10月4日(日)

メイン会場: 瑞穂公園陸上競技場

実施競技: 約40競技(想定) | 選手団(選手・チーム役員): 最大15,000人

アジア最大のスポーツの祭典が 2026年、愛知・名古屋で開催！

「アジア競技大会」は、アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催し、4年に1度開催されるスポーツの祭典。
2026年、愛知・名古屋で、日本では32年ぶり3回目となる「第20回アジア競技大会」が開催されます。



多彩な競技が実施される 総合スポーツ大会！

オリンピック実施競技に加え、アジア地域で盛んなカバディやセパタクロー等の競技が実施されるなど、競技の多さがアジア競技大会の特徴です。愛知・名古屋で開催する第20回大会では、**約40競技の実施と、選手・チーム役員最大15,000人の参加**を想定しています。

愛知・名古屋大会で実施される競技

（※オリンピック中核28競技以外は今後決定予定）

● オリンピック中核28競技

水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング、カヌー・カヤック、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ボート、ラグビー、セーリング、射撃、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、ウエイトリフティング、レスリング

● パリオリンピック競技大会追加競技

（候補：ブレイクダンス、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン）

● アジア5地域の競技（各1競技）

● 組織委員会提案競技（最大2競技）

● OCA提案競技（最大2競技）

※2020年6月現在。
実施競技は変更となる場合があります。

アジア競技大会の特徴

アジアを始め世界が注目！

2018年にジャカルタ・パレンバン（インドネシア）で開催された第18回大会では、約210万人が観戦し、国内外23のテレビ局で放映され、世界中で延べ約53億人が視聴するなど、アジア競技大会は世界から注目を集める大会です。

日本代表選手団が大活躍！

第18回大会では、競泳の池江璃花子選手が金メダル6個、銀メダル2個を獲得し、大会MVPに選出されたほか、競泳の瀬戸大也選手、カヌー・スラロームの羽根田卓也選手をはじめ、日本選手団が獲得した金メダルの総数は75個に上るなど、日本の選手が大いに活躍しました。



※写真はすべて第18回アジア競技大会（2018/ジャカルタ・パレンバン）

発行／一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

TEL 052-951-2026 FAX 052-746-9150

公式HP <https://www.aichi-nagoya2026.org>

大会に関する情報は
公式SNSをチェック！

Twitter



Instagram



Facebook

